

「主にあってむだでない」 58 節

1. はじめに

- ・この箇所は「よみがえり」について語っています。12 節で「どうして、あなたがたの中に、死者の復活はない、と言っている人がいるのですか。
- ・自分たちの労苦が主においてむだでないことを、確信しながら信仰の戦いを戦うこと。

2. 本文

① 35 節 ~ 49 節

- ・死者のよみがえり
- ・問、「死者はどのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか。」
- ・よみがえりについて
 - ・土で造られた者と天上のかたちをもつ者—人間

② 50 節 ~ 58 節

- ・勝利の確信
 - ・終わりのラッパ
 - ・私たちは変えられる
 - ・死は勝利にのまれた
 - ・イエス・キリストの勝利
- ・私たちの労苦は、主においてむだではない

③ パウロの信仰理解—主において～ 清める、義認、新生

- ・だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。マタイ 5 : 48
- ・わたしが聖であるから、あなたがたも聖でなければならない。I ペテロ 1 : 16
- ・だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。II コリント 5 : 17

3. まとめ

① 「主においてむだでないことを知っているのです。」

- ・私たち（日本人）の歴史的な文化が意味する方向
 - ・お金はあの世に持っていけない
 - ・仏教は諦めの思想
 - ・聖書には諦めはあるのか—求めなさい～
 - ・伝道者の書—「空の空」